



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4433 URL http://www.hitocom-hd.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 安井 豊明
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員社長室長兼経営企画部長 (氏名) 飯島 幸一 (TEL) 03(5924)6075
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	16,428	3.8	737	△20.5	748	△19.7	274	△38.7
2024年8月期第1四半期	15,826	△8.1	927	△42.5	932	△43.3	448	△52.2

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 337百万円(△37.9%) 2024年8月期第1四半期 543百万円(△45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	15.41	—
2024年8月期第1四半期	25.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期第1四半期	39,978	18,572	43.0
2024年8月期	40,103	18,614	43.0

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 17,176百万円 2024年8月期 17,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,044	4.1	1,040	△18.4	1,050	△16.7	370	△31.9	20.74
通期	59,000	0.8	2,000	27.5	2,000	30.2	943	—	52.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) 株式会社FMG Ramp Solutions、フ、除外 1社 (社名)
ィグニー株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年8月期1Q	17,899,333株	2024年8月期	17,899,333株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	56,933株	2024年8月期	56,933株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年8月期1Q	17,842,400株	2024年8月期1Q	17,842,400株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は、作成後当社ホームページに速やかに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の変更又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年9月1日から2024年11月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が継続することが見込まれます。一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の先行き懸念、エネルギーコストや原材料価格の高騰による物価上昇が継続し、家計・企業を取り巻く環境は改善傾向にあるものの予断を許さない状況が継続しております。

このような環境のもと、当社グループは「マーケティングの未来創造企業グループ」をテーマに、「ヒューマン営業支援」と「デジタル営業支援」を有機的に融合した「オムニチャネル営業支援企業」としての更なる事業リソースの充実に向けた取り組みを継続しております。具体的には、当社グループ各社が持つ専門性を継続的に高めるとともに、必要に応じて外部リソースを柔軟に活用することで、グループ全体の総合力を高めるとともに事業シナジーの最大化に取り組みます。これにより、雇用機会や新規事業を創出し、社会課題の解決を通じた持続可能なより良い社会の実現に向けて貢献してまいります。

その実践として、「ホールセール」において、有力コンテンツやインフルエンサーを活用した高付加価値商品の企画及び秋冬物商品の販売が好調に推移し前年同期比で増収となりました。また「エアポート」においても、株式会社FMG及び株式会社fmgのグループ化に伴い空港における各種業務が増収となりました。一方で、「販売系営業支援」において通信・家電の販売支援、プッシュ型営業支援を中心に減収が継続したほか、政府や地方公共団体が推進するワクチン接種受付コールセンターや接種会場の運営支援等、新型コロナウイルス感染拡大対策関連業務の受託が終了し、前年同期比で減収となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,428百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は737百万円(前年同期比20.5%減)、経常利益は748百万円(前年同期比19.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は274百万円(前年同期比38.7%減)となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

(アウトソーシング事業)

当第1四半期連結累計期間においては、株式会社FMG及び株式会社fmgのグループ化に伴い、「エアポート」において、空港における各種業務が増収となった一方、政府や地方公共団体が推進するワクチン接種受付コールセンターや接種会場の運営支援等、新型コロナウイルス感染拡大対策関連業務の受託が終了し減収となりました。また、「販売系営業支援」において、通信・家電分野を中心に減収となりました。

その結果、売上高は6,032百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は140百万円(前年同期比2.4%減)となりました。

(人材派遣事業)

当第1四半期連結累計期間においては、需要の拡大が見込まれる空港、ホテル等インバウンド領域、新規領域として物流分野における人材サービスの営業に注力し増収となりました。しかしながら、政府や地方公共団体が推進する接種会場の運営支援等、新型コロナウイルス感染拡大対策関連業務の受託が終了し減収となりました。

その結果、売上高は2,208百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益は122百万円(前年同期比45.4%減)となりました。

(EC・TC支援事業)

当第1四半期連結累計期間においては、特にファッションやスポーツ分野でのEC需要の拡大を背景に、蓄積したノウハウを活用して既存クライアントの業績向上や新規運営サイトの拡大に取り組みました。

その結果、売上高は2,926百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は205百万円(前年同期比37.0%減)となりました。

(ホールセール事業)

当第1四半期連結累計期間においては、秋冬物などトレンド商品の販売が好調に推移いたしました。

その結果、売上高は4,580百万円(前年同期比36.9%増)、営業利益は299百万円(前年同期比32.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産の残高は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比較して124百万円減少して、39,978百万円(前連結会計年度末比0.3%減)となりました。

負債の残高は、買掛金等の減少等により前連結会計年度末に比較して83百万円減少して、21,405百万円(前連結会計年度末比0.4%減)となりました。

純資産の残高は、剰余金の配当等により前連結会計年度末に比較して41百万円減少して、18,572百万円(前連結会計年度末比0.2%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年10月15日付で公表した「2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値を修正しております。

詳細は本日(2025年1月14日)付で公表いたしました「業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,251	13,140
受取手形、売掛金及び契約資産	10,355	11,167
商品	437	365
仕掛品	34	56
その他	2,176	1,428
貸倒引当金	△8	△25
流動資産合計	27,247	26,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,179	1,236
減価償却累計額	△620	△620
建物及び構築物(純額)	558	615
機械装置及び運搬具	96	368
減価償却累計額	△42	△54
機械装置及び運搬具(純額)	53	313
工具、器具及び備品	760	748
減価償却累計額	△564	△536
工具、器具及び備品(純額)	195	212
土地	1,273	1,273
リース資産	103	103
減価償却累計額	△77	△78
リース資産(純額)	25	24
建設仮勘定	406	1,281
有形固定資産合計	2,515	3,722
無形固定資産		
のれん	6,841	6,696
ソフトウェア	989	748
その他	152	152
無形固定資産合計	7,983	7,597
投資その他の資産		
投資有価証券	672	652
関係会社株式	331	206
関係会社長期貸付金	176	445
繰延税金資産	475	473
その他	1,056	1,102
貸倒引当金	△354	△352
投資その他の資産合計	2,357	2,526
固定資産合計	12,855	13,845
資産合計	40,103	39,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,246	5,487
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	1,684	1,328
リース債務	8	7
未払金	3,099	3,171
未払法人税等	256	405
賞与引当金	205	156
その他	1,163	1,956
流動負債合計	12,763	12,614
固定負債		
長期借入金	7,714	7,728
リース債務	24	22
繰延税金負債	1	2
役員退職慰労引当金	389	405
株式給付引当金	76	81
退職給付に係る負債	379	388
資産除去債務	79	124
その他	60	37
固定負債合計	8,725	8,791
負債合計	21,488	21,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	450	450
資本剰余金	91	91
利益剰余金	16,702	16,646
自己株式	△100	△100
株主資本合計	17,144	17,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	49
為替換算調整勘定	32	38
その他の包括利益累計額合計	92	88
非支配株主持分	1,377	1,396
純資産合計	18,614	18,572
負債純資産合計	40,103	39,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	15,826	16,428
売上原価	12,306	13,101
売上総利益	3,520	3,327
販売費及び一般管理費	2,592	2,590
営業利益	927	737
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
受取補償金	2	3
違約金収入	1	—
その他	11	30
営業外収益合計	16	35
営業外費用		
支払利息	8	14
支払補償費	1	—
その他	1	9
営業外費用合計	11	24
経常利益	932	748
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	932	744
法人税等	404	403
四半期純利益	527	341
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	448	274

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	527	341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△10
為替換算調整勘定	6	6
その他の包括利益合計	15	△3
四半期包括利益	543	337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462	270
非支配株主に係る四半期包括利益	80	67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の変更

株式会社FMG Ramp Solutions及びフィグニー株式会社は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち決算日が7月31日であった株式会社FMG及び株式会社fmgは同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を8月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第1四半期連結会計期間において、2024年8月1日から2024年11月30日までの4カ月間を連結しております。

なお、この変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	6,565	2,365	2,744	3,346	15,022	804	15,826	—	15,826
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	11	55	14	3	84	196	280	△280	—
計	6,576	2,420	2,759	3,350	15,107	1,000	16,107	△280	15,826
セグメント 利益 (注) 1	143	225	325	225	919	12	932	△4	927

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、社会福祉サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額
	アウトソー シング事業	人材派遣 事業	EC・TC 支援事業	ホールセー ル事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	6,032	2,208	2,926	4,580	15,748	680	16,428	—	16,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	71	25	0	102	151	253	△253	—
計	6,037	2,280	2,952	4,581	15,850	831	16,682	△253	16,428
セグメント利益またはセグメント損失(△) (注) 1	140	122	205	299	767	△25	741	△4	737

(注) 1 セグメント利益またはセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、社会福祉サービス、教育研修、富裕層向けリムジンサービス、システム開発関連サービス等を含んでおります。

3 セグメント利益またはセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社資産にかかる減価償却費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	99百万円	110百万円
のれんの償却額	195百万円	218百万円